

# 八次中学校区 小中一貫教育だより

## 「やつぎを愛し 自立と貢献の志を持った児童生徒の育成」

No3 平成29年2月発行

### 八次小・中で一貫した指導を ～ 将来の自立に向けて ～

八次中学校区では、本年度は、小中の教職員が、合わせて10回、お互いの授業を参観するとともに、夏季休業中には、合同研修会を実施し、学力調査の結果分析や自主学习・ノート指導の交流を行いました。

授業参観後の研究協議では、「小学校の国語で、暗唱をしていることが中学校につながっている」「中学校でのノートの使い方を参考に小学校でも学習を進めていく」など、小中の円滑な接続に向けて多くの意見が出ました。八次中学校区では、小中の校種の特長やよさに学びながら、児童生徒の発達段階に応じて、系統的に学習を進めていく取組を行っています。

3学期に入り、中学校では、高等学校の受験が始まり、卒業後に向けての進路指導が進んでいます。また、小中学校では、それぞれの入学に向けての説明会が開催される時期になり、4月からの新たな出会いに向けての取組が行われています。

また、小学校では、中学校の進路説明会の資料をもとに研修するなど、中学校卒業後の進路を意識した指導を進めています。

小中学校では、児童生徒の将来の自立に向けて、今、どんな力が必要なのかをしっかりと考えていきます。そして、将来にわたり必要となる基礎・基本を確実に教え、一人一人のよさや可能性を見つけ、伸ばすように支援していきたいと思えます。

将来の三次市、八次を担う児童生徒の育成に向けて、地域の皆様・保護者の皆様に引き続きお力添えをいただきたいと思えます。よろしくお願いたします。

### 中学校で立志式がありました

- 中学校では、1月18日（水）に立志式が開催されました。「立志」とは孔子の論語の中の、『吾十有五にして学に志す』という文がもとなっているそうです。15歳で志をたてるという節目として、中学校では3年前からこの式を行っています。
- 式では地域・保護者の皆様や学校関係者が見守る中、3年生の代表10名の生徒が、全校生徒の前で「立志の言葉」を発表しました。各生徒の発表は、将来、自分が就きたい仕事について、「なぜ、その仕事に就きたいと考えたのか」「仕事に就いて、どんなことをしたいのか」「仕事に就くために、今、何をすべきか」など、現実を見つめながら志を語る素晴らしい発表でした。
- 発表の中に、教師を目指したいという生徒が数人いました。児童生徒にとって、教師は身近な社会人であり、モデルとなる職業人です。
- 今、小中学校で学んでいる児童生徒は、将来、様々な場所で生活し、活躍するでしょう。児童生徒がおとなになったとき、「あのとき先生に声をかけてもらったことが力になった」「あの先生から学んだことが、今も心に残っている」と話していただける教職員でありたいと思えます。

